

APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard 2013  
最新版 Ver1.000 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

PlanWizard2010 Ver1.885→PlanWizard2013 Ver1.000 (H24.8.1)

- (1) 「グラフステップテーブル」コマンドの追加。

現在選択のシミュレーションのステップテーブルを開きます。  
後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.875→Ver1.885 (H24.7.24)

- (1) 特殊文字の日付処理に「\_P」を追加。

日付を旬1単位で括り、先頭日付を出力します。  
日付1～10は01、日付11～20は11、日付21～31は21。

- (2) 特殊文字の日付処理に「\_H」を追加。

日付を旬2単位で括り、先頭日付を出力します。  
日付1～15は01、日付16～31は16。

- (3) 特殊文字の日付処理に「\_W」を追加。

日付を週単位（日曜日起算）で括り、先頭日付を月日で出力します。  
例 2012/07/22～28 → 07/22、 2012/07/29～08/04 → 07/29

PlanWizard2010 Ver1.845→Ver1.875 (H24.7.2)

- (1) 特殊文字「%\_L(nCount)」を追加。

特殊文字により出力した文字列から左端のnCount（数字）で指定した文字を抽出し、それを特殊文字列で出力された文字列とします。  
この設定は、改行、もしくは、「%\_E」が出現するまで有効です。  
ただし、一部特殊文字の改行表示機能等には対応していません。

- (2) 特殊文字「%\_R(nCount)」を追加。

特殊文字により出力した文字列から右端のnCount（数字）で指定した文字を抽出し、それを特殊文字列で出力された文字列とします。  
この設定は、改行、もしくは、「%\_E」が出現するまで有効です。  
ただし、一部特殊文字の改行表示機能等には対応していません。

- (3) 特殊文字「%\_M(iFirst,nCount)」を追加。

特殊文字により出力した文字列からiFirst（0から始まるバイト）位置を開始位置として、nCount（数字）で指定した文字を抽出し、それを特殊文字列で出力された文字列とします。  
この設定は、改行、もしくは、「%\_E」が出現するまで有効です。  
ただし、一部特殊文字の改行表示機能等には対応していません。

- (4) 特殊文字「%\_E」を追加。

文字抽出処理を停止します。

PlanWizard2010 Ver1.835→Ver1.845 (H24.6.25)

- (1) 帳票クリエイターのサンプル追加。

PlanWizard2010 Ver1.785→Ver1.835 (H24.6.14)

- (1) 半製品・製品間工程間リソースの割付改良。
- (2) パターンエディタ、マスター統合エディタ、オーダーエディタで、一部の複雑な分岐・合流のパターンで正しく表示・編集できなかつたのが改善された。

PlanWizard2010 Ver1.782→Ver1.785 (H24.6.1)

- (1) マクロコマンド「PSTOCK\_ASSIGN」の書式変更

新書式：PSTOCK\_ASSIGN 引数1 (省略可)

引数1：使用ルール (0, 1, 2, …)

画面のルール呼出画面の行数を指定します。省略または「0」の場合は、最後に実行したルールが使用されます。

PlanWizard2010 Ver1.777→Ver1.782 (H24.5.23)

- (1) マクロコマンド「LOT\_MAT\_INFO\_RECAL」の書式変更

新書式：LOT\_MAT\_INFO\_RECAL 引数1 (省略可「0」or「1」) 引数2 (省略可)

引数1：「1」に指定するとコマンド実行時に所要量が再計算されます。

省略または「0」で所要量は再計算されません。

引数2：使用ルール (0, 1, 2, …)

画面のルール呼出画面の行数を指定します。省略または「0」の場合は、最後に実行したルールが使用されます。

引数2を指定する場合は、引数1は省略できません。

- (2) マクロコマンド「LOT\_INFO\_RECAL\_LOT」の書式変更

新書式：LOT\_INFO\_RECAL\_LOT 引数1 (省略可「0」or「1」) 引数2 (省略可)

引数1：「1」に指定するとコマンド実行時に所要量が再計算されます。

省略または「0」で所要量は再計算されません。

引数2：使用ルール (0, 1, 2, …)

画面のルール呼出画面の行数を指定します。省略または「0」の場合は、最後に実行したルールが使用されます。

引数2を指定する場合は、引数1は省略できません。

PlanWizard2010 Ver1.745→Ver1.777 (H24.5.10)

- (1) 段取りスケジューリングの高速化。

PlanWizard2010 Ver1.730→Ver1.745 (H24.4.25)

- (1) ガントチャート編集メニューで各種テーブル抽出の関連半製品抽出オーダー等のコマンドで未割付があるとその時点で抽出がとまっていたが、未割付でも先まで抽出表示するように改良した。
- (2) 代替生産パターン時のロット番号付番を変更した。  
オーダー先頭LotNo(C)が入っている場合にはそちらを優先し、入っていない場合でも、

現行の数値部分を変更し、桁数の左ゼロ詰をすることにした。

- (3) スケジューリング処理で異常終了した場合のメッセージにシリーズのレコード番号の情報を追加した。

PlanWizard2010 Ver1.694→Ver1.730 (H24.4.2)

- (1) 帳票クリエイターの機能アップ。  
後日詳細資料を送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.690→Ver1.694 (H24.3.19)

- (1) マクロコマンド「SERIES\_LOT\_PRINT\_SAMPLING」を追加。  
書式：SERIES\_LOT\_PRINT\_SAMPLING  
「生産計画－シリーズ－ロット表示シリーズ抽出...」コマンドを実行します。
- (2) マクロコマンド「LOT\_SERIES\_PRINT\_SAMPLING」を追加。  
書式：LOT\_SERIES\_PRINT\_SAMPLING  
「生産計画－ロット－シリーズ表示ロット抽出...」コマンドを実行します。

PlanWizard2010 Ver1.685→Ver1.690 (H24.3.1)

- (1) 「生産計画－シリーズ－ロット表示シリーズ抽出...」コマンドを追加  
ロットリストでロットが表示されているシリーズを抽出表示します。
- (2) 「生産計画－ロット－シリーズ表示ロット抽出...」コマンドを追加  
シリーズリストでシリーズが表示されているロットを抽出表示します。

PlanWizard2010 Ver1.680→Ver1.685 (H24.2.22)

- (1) マクロコマンド「ORDER\_SERIES\_PRINT\_SAMPLING」を追加。  
書式：ORDER\_SERIES\_PRINT\_SAMPLING  
「生産計画－オーダー－シリーズ表示オーダー抽出...」コマンドを実行します。
- (2) マクロコマンド「ORDER\_LOT\_PRINT\_SAMPLING」を追加。  
書式：ORDER\_LOT\_PRINT\_SAMPLING  
「生産計画－オーダー－ロット表示オーダー抽出...」コマンドを実行します。

PlanWizard2010 Ver1.640→Ver1.680 (H24.2.8)

- (1) 「生産計画－オーダー－シリーズ表示オーダー抽出...」コマンドを追加  
シリーズリストでシリーズが表示されているオーダーを抽出表示します。
- (2) 「生産計画－オーダー－ロット表示オーダー抽出...」コマンドを追加  
ロットリストでロットが表示されているオーダーを抽出表示します。

PlanWizard2010 Ver1.625→Ver1.640 (H24.1.24)

- (1) マクロコマンド「ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_COPY\_TO\_MEMO」を追加  
書式：ACTIVE\_TABLE\_FIELD\_COPY\_TO\_MEMO 引数1 引数2(0~4)  
引数1：コピー元のフィールドの型情報付きフィールド名称を指定して下さい  
引数2：コピー先対象備考（「0」：備考1～「4」：備考4）  
現在アクティブなテーブルウィンドウの引数1で指定したフィールドのデータを

引数 2 で指定した備考へコピーを行います。

コピー対象レコードは抽出表示されたレコードのみとなります。

- (2) マクロコマンド「ORDER\_H\_NOT\_ASSIGN\_DELETE」の書式変更  
新書式：ORDER\_H\_NOT\_ASSIGN\_DELETE 引数（省略可「0」or「1」）  
引数で「0」または省略した場合は、現状どおり、全未引当て半製品オーダーが対象となります。引数で「1」を指定した場合は、未引当半製品オーダーで、且つ、表示されているレコードが対象となります。
- (3) マクロコマンド「ORDER\_P\_NOT\_ASSIGN\_DELETE」の書式変更  
新書式：ORDER\_P\_NOT\_ASSIGN\_DELETE 引数（省略可「0」or「1」）  
引数で「0」または省略した場合は、現状どおり、全未引当て製品オーダーが対象となります。引数で「1」を指定した場合は、未引当製品オーダーで、且つ、表示されているレコードが対象となります。

#### PlanWizard2010 Ver1.615→Ver1.625（H24.1.11）

- (1) フィールド置換に特殊文字「！」を追加。  
現在のフィールドデータに特殊文字以降の設定データを追加します。  
例：!AddString  
現在のフィールドデータの後ろに” AddString”を追加します。

#### PlanWizard2010 Ver1.610→Ver1.615（H23.12.15）

- (1) ガントチャート特殊文字「%SGAM1～5」を追加  
書式：%SGAM1～5[?]  
シリーズ全体の原材料引当て情報の該当原材料在庫の備考 1～5
- (2) ガントチャート特殊文字「%OGIM1～5」を追加  
書式：%OGIM1～5[?]  
オーダー全体の原材料情報の該当原材料の備考 1～5
- (3) ガントチャート特殊文字「%OGAM1～5」を追加  
書式：%OGAM1～5[?]  
オーダー全体の原材料引当て情報の該当原材料在庫の備考 1～5

#### PlanWizard2010 Ver1.595→Ver1.610（H23.12.1）

- (1) ガントチャート特殊文字「%LGIM1～5」を追加  
書式：%LGIM1～5[?]  
ロットの原材料情報の該当原材料の備考 1～5
- (2) ガントチャート特殊文字「%LGAM1～5」を追加  
書式：%LGAM1～5[?]  
ロットの原材料引当て情報の該当原材料在庫の備考 1～5
- (3) ガントチャート特殊文字「%SGIM1～5」を追加  
書式：%SGIM1～5[?]  
シリーズ全体の原材料情報の該当原材料の備考 1～5
- (4) 前後段取りが設定されている場合のスケジューリング時間の高速化。

#### PlanWizard2010 Ver1.590→Ver1.595 (H23.11.16)

- (1) 「スケジューリングレポート (カスタマイズ)  
ーデータファイルーリソースシフト毎最大使用量...」 コマンドの追加。  
リソースの日・シフト毎の最大使用量を出力します。
- (2) マクロコマンド「WRITE\_RESOURCE\_HIST\_SHIFT\_MAX」を追加。  
書式： WRITE\_RESOURCE\_HIST\_SHIFT\_MAX 引数1 引数2 引数3  
引数1： 分割シフト番号 (リソースシフトパターンのレコード番号)  
引数2： 日付  
引数3： 日数  
「スケジューリングレポート (カスタマイズ)  
ーデータファイルーリソースシフト毎最大使用量...」 コマンドを実行します。

#### PlanWizard2010 Ver1.585→Ver1.590 (H23.11.2)

- (1) 個別管理リソースガントチャートの拡張1表示の場合の移動処理の変更。  
時間帯毎の計画であっても拡張1表示単位で移動するようにした。  
拡張2、拡張3の場合は現状のままです。

#### PlanWizard2010 Ver1.588→Ver1.590 (H23.10.21)

- (1) 差立てテーブルで無限山積み設備の場合の移動処理を変更。

#### PlanWizard2010 Ver1.570→Ver1.588 (H23.10.5)

- (1) ガントチャート編集メニューへ以下のポップアップメニューを追加  
「テーブル抽出ー工程名称マスター」
- (2) 上記ポップアップへ「関連工程抽出」 コマンドを追加。  
ガントチャートウィンドウで指定したシリーズと関連する全工程を  
テーブルウィンドウに抽出します。
- (3) 上記ポップアップへ「関連工程(L)+関連半製品工程抽出」 コマンドを追加。  
ガントチャートウィンドウで指定したロットと関連する全工程と関連する半製品の  
全工程をテーブルウィンドウに抽出します。
- (4) 上記ポップアップへ「関連工程(S)+関連半製品工程抽出」 コマンドを追加。  
ガントチャートウィンドウで指定したシリーズと関連する全工程と関連する半製品の  
全工程をテーブルウィンドウに抽出します。
- (5) 上記ポップアップへ「設備割付工程抽出」 コマンドを追加。  
ガントチャートウィンドウで指定した設備に割付いている全工程を  
テーブルウィンドウに抽出します。
- (6) 上記ポップアップへ「設備割付可能工程抽出」 コマンドを追加。  
ガントチャートウィンドウで指定した設備に割付可能な全工程を  
テーブルウィンドウに抽出します。

#### PlanWizard2010 Ver1.565→Ver1.570 (H23.9.20)

- (1) マクロコマンド「SCHEDULE\_EVALUATION\_PRINT」を追加  
書式： SCHEDULE\_EVALUATION\_PRINT <省略可： 引数 (ファイル名称群) >

引数：割付評価データファイルを指定します。複数指定可。

複数の場合は、「！」で各ファイル群をつなげます。

例：ファイル名1！ファイル名2！ファイル名3

「スケジューリング割付評価グラフ表示」を実行します。

- (2) 中間体マスターの自動生成の処理の変更。  
代替生産パターンがある場合の処理を変更しました。  
代替生産パターンの中にメインのパターン等の他のパターンで使用されている  
同一の工程名称がある場合は、同じ中間体を共有することにしました。

#### PlanWizard2010 Ver1.545→Ver1.565 (H23.9.9)

- (1) スケジューリングカスタマイズ「MAX\_IDLE\_TIME\_BTW\_LOT」を追加。  
後日詳細資料をお送り致します。

#### PlanWizard2010 Ver1.538→Ver1.545 (H23.8.25)

- (1) 設備マスターのバリデーションチェック機能強化。(レベル2)
- (2) 仕様 01\_05 切替マスターのバリデーションチェック機能強化。(レベル2)
- (3) 仕様 06\_10 切替マスターのバリデーションチェック機能強化。(レベル2)

#### PlanWizard2010 Ver1.518→Ver1.538 (H23.8.10)

- (1) オーダーグルーピング機能の改良。  
後日詳細資料をお送り致します。

#### PlanWizard2010 Ver1.495→Ver1.518 (H23.7.28)

- (1) 差立てテーブルの縦スクロールを表示ユニット単位から行単位へ変更。
- (2) 差立てテーブルの横スクロールを設備単位から項目単位へ変更。
- (3) 差立てテーブルで移動時の Shift キー押状態での新規処理選択対応の追加。  
後日詳細資料をお送り致します。
- (4) ガントチャート特殊文字「%LAPX」を追加  
書式：LAPX [?]  
ロットの生産の個別管理リソース名称の改行表示
- (5) ガントチャート特殊文字「%LAFX」を追加  
書式：LAFX [?]  
ロットの前段取りの個別管理リソース名称の改行表示
- (6) ガントチャート特殊文字「%LABX」を追加  
書式：LABX [?]  
ロットの後段取りの個別管理リソース名称の改行表示

#### PlanWizard2010 Ver1.480→Ver1.495 (H23.7.7)

- (1) シリーズが複数ロットの場合のクリティカルの改良。  
後日詳細資料をお送り致します。

#### PlanWizard2010 Ver1.470→Ver1.480 (H23.6.22)

- (1) ガントチャート特殊文字「%SQT」を追加  
書式：%SQT  
シリーズ総生産数量を表示します。
- (2) ガントチャート特殊文字「%SLQT」を追加  
書式：%SLQT  
シリーズ総ロット数を表示します。

#### PlanWizard2010 Ver1.468→Ver1.470 (H23.6.2)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「SCHEDULE\_WITH\_STRATEGY\_FILE」を追加  
書式：SCHEDULE\_WITH\_STRATEGY\_FILE 引数1 <省略可:引数1 (0,1,2,...)> <省略可:引数2 (日時)>>  
引数1：戦略ファイル名称  
引数2：使用ルール (0,1,2,...)  
「0」の場合は、最後に実行したスケジューリングルールが使用されます。  
引数3：スケジューリング画面の割付開始日時を指定します。  
引数3を指定する場合は、引数2は省略できません。
- (2) エントリーシートの機能拡張  
各種マスターの削除処理を追加。
- (3) 割付評価ツールで過去の割付評価と比較できるように改良した。
- (4) マクロコマンド「G\_RESOURCE\_OPEN」を追加  
書式：G\_RESOURCE\_OPEN <省略可:引数1 引数2 引数3 引数4>  
引数1：ウィンドウX座標  
引数2：ウィンドウY座標  
引数3：幅  
引数4：高さ  
[グラフ] - [リソース稼働率グラフ] コマンドを実行します。

#### PlanWizard2010 Ver1.456→Ver1.468 (H23.5.31)

(追加・改良)

- (1) 帳票クリエイターの新形式レイアウトのサンプル 10 点の追加

#### PlanWizard2010 Ver1.405→Ver1.456 (H23.5.10)

(追加・改良)

- (1) 帳票クリエイターの新形式レイアウトへの対応。  
後日詳細資料をお送り致します。

#### PlanWizard2010 Ver1.400→Ver1.405 (H23.4.21)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「WRITE\_G\_WAIT\_META」を追加  
書式：WRITE\_G\_WAIT\_META 引数1 引数2  
引数1：出力設定ファイル名称  
引数2：出力リストファイル名称

待ち時間グラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (2) マクロコマンド「WRITE\_G\_LATE\_META」を追加

書式：WRITE\_G\_LATE\_META 引数1 引数2

引数1：出力設定ファイル名称

引数2：出カリストファイル名称

納期遅れグラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (3) マクロコマンド「WRITE\_G\_LEAD\_META」を追加

書式：WRITE\_G\_LEAD\_META 引数1 引数2

引数1：出力設定ファイル名称

引数2：出カリストファイル名称

リードタイムグラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (4) マクロコマンド「WRITE\_G\_RESOURCE\_META」を追加

書式：WRITE\_G\_RESOURCE\_META 引数1 引数2

引数1：出力設定ファイル名称

引数2：出カリストファイル名称

リソース稼働率グラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.389→Ver1.400 (H23.4.11)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「WRITE\_G\_EQUIP\_META」を追加

書式：WRITE\_G\_EQUIP\_META 引数1 引数2

引数1：出力設定ファイル名称

引数2：出カリストファイル名称

設備稼働率グラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (2) マクロコマンド「WRITE\_G\_PQ\_META」を追加

書式：WRITE\_G\_PQ\_META 引数1 引数2

引数1：出力設定ファイル名称

引数2：出カリストファイル名称

生産量グラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (3) マクロコマンド「WRITE\_G\_PQC\_META」を追加

書式：WRITE\_G\_PQC\_META 引数1 引数2

引数1：出力設定ファイル名称

引数2：出カリストファイル名称

生産量累計グラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (4) マクロコマンド「WRITE\_G\_CQ\_META」を追加



書式 : WRITE\_G\_CQ\_META 引数 1 引数 2

引数 1 : 出力設定ファイル名称

引数 2 : 出力リストファイル名称

消費量グラフメタファイルを作成します。

- (5) マクロコマンド「WRITE\_G\_CQC\_META」を追加

書式 : WRITE\_G\_CQC\_META 引数 1 引数 2

引数 1 : 出力設定ファイル名称

引数 2 : 出力リストファイル名称

消費量累計グラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (6) マクロコマンド「WRITE\_G\_STOCK\_META」を追加

書式 : WRITE\_G\_STOCK\_META 引数 1 引数 2

引数 1 : 出力設定ファイル名称

引数 2 : 出力リストファイル名称

在庫量グラフメタファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

#### PlanWizard2010 Ver1.385→Ver1.389 (H23.3.14)

(追加・改良)

- (1) Windows7 サービスパック 1 対応。

#### PlanWizard2010 Ver1.379→Ver1.385 (H23.3.8)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「WRITE\_G\_WAIT\_DATA」を追加

書式 : WRITE\_G\_WAIT\_DATA 引数 1 引数 2

引数 1 : 出力設定ファイル名称

引数 2 : 出力リストファイル名称

待ち時間グラフデータファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (2) マクロコマンド「WRITE\_G\_LATE\_DATA」を追加

書式 : WRITE\_G\_LATE\_DATA 引数 1 引数 2

引数 1 : 出力設定ファイル名称

引数 2 : 出力リストファイル名称

納期遅れグラフデータファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (3) マクロコマンド「WRITE\_G\_LEAD\_DATA」を追加

書式 : WRITE\_G\_LEAD\_DATA 引数 1 引数 2

引数 1 : 出力設定ファイル名称

引数 2 : 出力リストファイル名称

リードタイムグラフデータファイルを作成します。

後日詳細資料をお送り致します。

- (4) マクロコマンド「WRITE\_G\_RESOURCE\_DATA」を追加

書式 : WRITE\_G\_RESOURCE\_DATA 引数 1 引数 2  
引数 1 : 出力設定ファイル名称  
引数 2 : 出力リストファイル名称  
リソース稼働率グラフデータファイルを作成します。  
後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.363→Ver1.379 (H23.2.21)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「WRITE\_G\_EQUIP\_DATA」を追加  
書式 : WRITE\_G\_EQUIP\_DATA 引数 1 引数 2  
引数 1 : 出力設定ファイル名称  
引数 2 : 出力リストファイル名称  
設備稼働率グラフデータファイルを作成します。  
後日詳細資料をお送り致します。
- (2) マクロコマンド「WRITE\_G\_PQ\_DATA」を追加  
書式 : WRITE\_G\_PQ\_DATA 引数 1 引数 2  
引数 1 : 出力設定ファイル名称  
引数 2 : 出力リストファイル名称  
生産量グラフデータファイルを作成します。  
後日詳細資料をお送り致します。
- (3) マクロコマンド「WRITE\_G\_PQC\_DATA」を追加  
書式 : WRITE\_G\_PQC\_DATA 引数 1 引数 2  
引数 1 : 出力設定ファイル名称  
引数 2 : 出力リストファイル名称  
生産量累計グラフデータファイルを作成します。  
後日詳細資料をお送り致します。
- (4) マクロコマンド「WRITE\_G\_CQ\_DATA」を追加  
書式 : WRITE\_G\_CQ\_DATA 引数 1 引数 2  
引数 1 : 出力設定ファイル名称  
引数 2 : 出力リストファイル名称  
消費量グラフデータファイルを作成します。  
後日詳細資料をお送り致します。
- (5) マクロコマンド「WRITE\_G\_CQC\_DATA」を追加  
書式 : WRITE\_G\_CQC\_DATA 引数 1 引数 2  
引数 1 : 出力設定ファイル名称  
引数 2 : 出力リストファイル名称  
消費量累計グラフデータファイルを作成します。  
後日詳細資料をお送り致します。  
後日詳細資料をお送り致します。
- (6) マクロコマンド「WRITE\_G\_STOCK\_DATA」を追加  
書式 : WRITE\_G\_STOCK\_DATA 引数 1 引数 2  
引数 1 : 出力設定ファイル名称

引数 2 : 出力リストファイル名称  
在庫量グラフデータファイルを作成します。  
後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.352→Ver1.363 (H23.2.7)

(追加・改良)

- (1) 各種ツールの Office2010 対応。

PlanWizard2010 Ver1.340→Ver1.352 (H23.1.21)

(追加・改良)

- (1) Access インターフェースツールの起動処理で引数対応。  
指定した引数により各種処理が自動実行されます。  
後日詳細資料をお送り致します。
- (2) SQL インターフェースの起動処理で引数対応。  
指定した引数により各種処理が自動実行されます。  
後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.327→Ver1.340 (H22.12.24)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「RECREATE\_EQUIP\_CALENDAR\_BY\_PTN」を追加  
書式 : RECREATE\_EQUIP\_CALENDAR\_BY\_PTN 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4  
引数 1 : 設備名称  
引数 2 : 開始日  
引数 3 : 終了日  
引数 4 : 設備稼働パターン名称  
設備名称で指定した設備の現在のシミュレーションのカレンダーを  
開始日から終了日までの間、休日以外の日に関して  
引数 4 で指定した稼働パターンで再作成します。
- (2) マクロコマンド「SET\_FACTORY\_CALENDAR\_REST」を追加  
書式 : SET\_FACTORY\_CALENDAR\_REST 引数 1  
引数 1 : 日付  
設定した日付を休日にします。
- (3) マクロコマンド「SET\_FACTORY\_CALENDAR\_WORK」を追加  
書式 : SET\_FACTORY\_CALENDAR\_WORK 引数 1  
引数 1 : 日付  
設定した日付を稼働にします。

PlanWizard2010 Ver1.315→Ver1.327 (H22.12.1)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「RECREATE\_RESOURCE\_CALENDAR\_BY\_PTN\_FILE」を追加  
書式 : RECREATE\_RESOURCE\_CALENDAR\_BY\_PTN\_FILE 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4  
引数 1 : リソース名称

引数 2 : 開始日

引数 3 : 終了日

引数 4 : パターンファイル名称

リソース名称で指定したリソースの現在のシミュレーションのカレンダーを  
開始日から終了日までの間、休日以外の日に関して

引数 4 で指定したパターンファイル名称の内容で再作成します。

パターンファイルの書式 : 先頭行 指定リソースシフトパターン名称

次行以降 シフトパターン先頭行からのリソース数を設定

(2) マクロコマンド「RECREATE\_PERSON\_CALENDAR\_BY\_PTN」を追加

書式 : RECREATE\_PERSON\_CALENDAR\_BY\_PTN 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4

引数 1 : 個別管理リソース名称

引数 2 : 開始日

引数 3 : 終了日

引数 4 : リソースシフトパターン名称

個別管理リソース名称で指定した個別管理リソースの現在のシミュレーションの  
カレンダーを開始日から終了日までの間、休日以外の日に関して

引数 4 で指定したシフトパターンで再作成します。

PlanWizard2010 Ver1.307→Ver1.315 (H22.11.19)

(追加・改良)

(1) スケジューリング高速化 (リソース制約)。

(2) スケジューリングカスタマイズ「F\_SETUP\_USE\_MIDDLE\_INFO」を追加。

後日詳細資料をお送り致します。

(3) スケジューリングカスタマイズ「B\_SETUP\_USE\_MIDDLE\_INFO」を追加。

後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.256→Ver1.307 (H22.10.28)

(追加・改良)

(1) SQL インターフェースツールの改良。

従来、複数に分けて入力する必要があったテーブルを 1 つのテーブルで入力できる  
ように改良した。

後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.205→Ver1.256 (H22.10.22)

(追加・改良)

(1) Access インターフェースツールの改良。

従来、複数に分けて入力する必要があったテーブルを 1 つのテーブルで入力できる  
ように改良した。

後日詳細資料をお送り致します。

PlanWizard2010 Ver1.114→Ver1.205 (H22.9.27)

(追加・改良)

- (1) 戦略機能の機能追加。  
後日詳細資料をお送り致します。

#### PlanWizard2010 Ver1.102→Ver1.114 (H22.9.17)

(追加・改良)

- (1) 重みの製造時間最小化の範囲を-10,000~+10,000へ変更。
- (2) 重み計算のリソース平準化の計算の改良。

#### PlanWizard2010 Ver1.100→Ver1.102 (H22.8.26)

(追加・改良)

- (1) 「スケジューラ割付評価グラフ表示」コマンドを追加。  
割付評価をグラフ表示します。過去のデータと比較等も行うことができます。
- (2) Excel ツールファイル「\_ScheInfoAnalyser.xls」を添付。  
Excel フォルダに入れて下さい。

#### PlanWizard2010 Ver1.045→Ver1.100 (H22.8.4)

(追加・改良)

- (1) 差立てテーブルへ情報ビューを追加。
- (2) 差立てテーブルのプロパティへ「参照」タブ追加。
- (3) 「編集 (差立てテーブル) - 情報ビュー」コマンドの追加。

#### PlanWizard2010 Ver1.033→Ver1.045 (H22.7.6)

(追加・改良)

- (1) 時間帯毎スケジューリング改良。

#### PlanWizard2010 Ver1.022→Ver1.033 (H22.6.8)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートの編集メニューへ以下を追加。  
「実績-実績入力...」  
しばらく使用しないで下さい。後日、詳細資料をお送り致します。

#### PlanWizard2010 Ver1.010→Ver1.022 (H22.5.27)

(追加・改良)

- (1) スケジューリングの高速化  
SS&BW、FF&FW の組合せにおいて高速化されます。

#### PlanWizard2010 Ver1.006→Ver1.010 (H22.5.21)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートの編集メニューへ以下を追加。  
「ジャンプ-差立てテーブル」  
しばらく使用しないで下さい。後日、詳細資料をお送り致します。
- (2) ガントチャートのプロパティ「移動」タブへ以下を追加。

「移動後、固定する」チェックボタン。  
チェックを外すと、移動後、固定をしません。  
現状は、チェックが入った状態です。

#### PlanWizard2010 Ver1.000→Ver1.006 (H22.5.10)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「MASTER\_WORK\_DELETE」の書式変更  
新書式：MASTER\_WORK\_DELETE 引数1 <省略可：引数2(0,1)>  
引数1：レコード番号（「-9999」で表示レコード全選択）  
引数2：「1」を設定すると「計画にデータがある場合でも強制的に削除する」が  
チェックの状態で行われます。
- (2) マクロコマンド「MASTER\_RESOURCE\_DELETE」の書式変更  
新書式：MASTER\_RESOURCE\_DELETE 引数1 <省略可：引数2(0,1)>  
引数1：レコード番号（「-9999」で表示レコード全選択）  
引数2：「1」を設定すると「計画にデータがある場合でも強制的に削除する」が  
チェックの状態で行われます。
- (3) マクロコマンド「MASTER\_INDIV\_RESOURCE\_DELETE」の書式変更  
新書式：MASTER\_INDIV\_RESOURCE\_DELETE 引数1 <省略可：引数2(0,1)>  
引数1：レコード番号（「-9999」で表示レコード全選択）  
引数2：「1」を設定すると「計画にデータがある場合でも強制的に削除する」が  
チェックの状態で行われます。
- (4) マクロコマンド「MASTER\_MATERIAL\_DELETE」の書式変更  
新書式：MASTER\_MATERIAL\_DELETE 引数1 <省略可：引数2(0,1)>  
引数1：レコード番号（「-9999」で表示レコード全選択）  
引数2：「1」を設定すると「計画にデータがある場合でも強制的に削除する」が  
チェックの状態で行われます。
- (5) マクロコマンド「MASTER\_PRODUCT\_DELETE」の書式変更  
新書式：MASTER\_PRODUCT\_DELETE 引数1 <省略可：引数2(0,1)>  
引数1：レコード番号（「-9999」で表示レコード全選択）  
引数2：「1」を設定すると「関連生産パターンマスターも削除する」が  
チェックの状態で行われます。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

◇[APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介 CD のお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)